

施策マネジメントシート ～令和4年度の振り返りから令和5年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do） (5月中に記入)

長期振興計画 の位置づけ	まちづくり分野		くらし分野	担当課		健康保険課・高齢者支援課				
	政策分野		社会保障		課長名		中里千秋・柳田さゆり			
	施策		6 社会保障制度の運営		重点施策の該当		R4	-	R5	-
施策の目的	対象	社会保障制度		意図	安定的に運営される					

施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値)					
	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標
国民健康保険特別会計単年度収支(財政補填分繰入金を除く)(千円)	△19,067	7,009	18,823 (0)	(0)	(0)	(0)
国保税収納率(現年度分)(%)	-	-	96.99 (97.0)	(97.0)	(97.0)	(97.0)
国民年金保険料納付率(%)	61.8	64.3	64.4 (62)	(62)	(62)	(63)
要介護(要支援)認定者1人当たりの年間給付費(1・2号被保険者)(円)	-	-	1,762,333 (1,807,703)	(1,810,965)	(1,807,708)	(1,802,662)
介護保険料収納率(現年度分)(%)	-	-	99.6 (98.6)	(98.6)	(98.6)	(98.6)

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
90.9	24.6	90.9	21.2						
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
89.8	-14.1	89.5	-22.5						

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値)					
			2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度目標	6年度目標	7年度目標
医療保険制度の安定運営		適用適正化件数(適用適正化調査による)(世帯)	21	22	15 (15)	(15)	(15)	(15)
医療保険制度の安定運営		レセプト点検1人当たり財政効果額(円)	3,731	3,505	2,991 (1,405)	(1,414)	(1,424)	(1,435)
医療保険制度の安定運営		後発医薬品使用割合(%)	82.9	82.8	83.9 (83.2)	(83.4)	(83.6)	(83.8)
介護保険制度の安定運営		1号被保険者の要介護認定率(%)	18.14	18.5	18.86 (18.25)	(18.39)	(18.53)	(18.64)
介護保険制度の安定運営		1号被保険者1人1月当たり費用額(円)	-	-	28,211 (27,139)	(27,217)	(27,279)	(27,329)
国民年金制度の推進		窓口の受付件数(件)	1,224	1,274	1,331 (1,929)	(1,929)	(1,929)	(1,929)
国民年金制度の推進		出張年金相談件数(件)	392	365	355 (535)	(535)	(535)	(535)
国民年金制度の推進		電話相談件数(件)	271	241	114 (333)	(333)	(333)	(333)

施策マネジメントシート ～令和4年度の振り返りから令和5年度の実現へ～

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
【健康保険課】 基本事業No.20・22	【医療保険制度の安定運営】 ・団塊の世代(昭和22年～24年生まれ)が後期高齢に移行する中、国保の被保険者数は減少し、後期高齢の被保険者数は増加している。医療技術の高度化などにより、一人当たりの医療費は増加傾向にある。持続可能な国保運営とするため、将来的には、従来の市町村単位の国保運営では、保険料負担の急増や赤字の拡大・恒常化など、保険財政基盤のさらなる脆弱化が懸念されることから、本県全体の国保の安定化を図る観点から、県内の保険料水準を統一し、市町村間で支え合う体制づくりを進めていく。(保険料水準の統一化) ・医療費が伸びてきており、レセプト点検による医療費の適正化、国保資格の適正化、ジェネリック医薬品の利用促進など歳出の抑制に努めている。 ・現在の健康保険証を2024年秋に廃止して、マイナンバーカードと健康保険証を一体化するマイナンバー法改正案が可決された。今後とも国の動向に注視していく。 【国民年金制度の推進】 ・年金制度について、毎月の広報誌でお知らせしている。年金相談会を毎月実施しているが、相談件数が減少傾向にある。
【高齢者支援課】 基本事業No.21	・介護保険制度創設から20年以上が経過し、高齢化の進行とともに給付費や保険料は年々上昇している。また現役世代の人口減少に伴い、医療・介護の需要と供給のギャップがさらに広がることが懸念され、人材確保は喫緊の課題となっている。 ・市内の介護従事者等が新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者となり、人材不足による事業の縮小や一時休止を余儀なくされる事業所に対して、介護従事者等が早期に職務復帰できるよう抗原検査キットを配布し、短期的な介護人材確保に努めた。

施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題		
	成果	現状・課題
【健康保険課】 基本事業No.20・22	【医療保険制度の安定運営】 ・令和4年度の単年度収支は、18,823千円、基金積立は7,528千円で令和4年度末の基金残高は167,230千円となった。 【国民年金制度の推進】 ・毎月の年金相談会は順調に行われている。	【医療保険制度の安定運営】 ・高齢化や医療技術の高度化により、医療費は年々増加傾向にある。また、団塊の世代が後期高齢に到達することで、今後ますます医療費の増大が懸念される。引き続き、医療費の適正化を図るとともに保険制度の安定的な運営が求められる。 【国民年金制度の推進】 ・社会保障を多くの市民が受けられるよう、制度の周知を図る。
【高齢者支援課】 基本事業No.21	・高齢化とともに要介護認定者も増加してきているが、保険給付費は、昨年度から0.04%増(R3実績1,909,544千円→R4実績1,910,370千円 ※R4計画額1,923,395千円)に抑えられた。 ・令和4年度の単年度収支は、10,975千円、基金積立は3,429千円で令和4年度末の基金残高は121,142千円となった。	・介護職員の高齢化や長引くコロナ禍の影響による離職者の増加もあり、人材確保は喫緊の課題である。今後は専門職の確保はもとより、元気な高齢者や地域での支援者等、多様な人材の育成・確保が必要である。 ・制度の安定運営のために、介護予防や重度化防止の取組をさらに強化するとともに、多職種によるケアプランの点検等、給付の適正化にも継続して取り組む必要がある。

今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)	
継続・現状維持	【健康保険課】 基本事業No.20・22	【医療保険制度の安定運営】 ・医療保険制度の医療費適正化を図り、安定的な財政運営を目指す。 ・保険料水準の統一化に向けた検討を進めていく。 【国民年金制度の推進】 ・各制度の周知と勧奨を推進する。
継続・現状維持	【高齢者支援課】 基本事業No.21	・第8期介護保険事業計画に基づき、介護サービスの充実を図るとともに介護予防や重度化防止の取組強化など、着実な事業推進に努める。保険料の収納率の向上と給付の適正化を図り、介護保険事業の安定運営に努める。

②-2 政策部会による振り返り(Check) (6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
継続・現状維持	【市民福祉部会】 施策担当課の記載する方向性のとおり。